

グローバル・コミュニケーション能力認定試験 結果

2013/※/※

解答テーマ『適応と変革』

氏名 ※※ ※※ 様

一 分析視点 一

- ◎ ご自身が持っておられる知識・技術を仕事に向かって、またはこれからしようとしている仕事に向かって、活用されている程度を意識と現れている能力について分析測定しました。
- ◎ 分析はご自身が使われた言葉と、使っておられる表現から構造を細かく調べています。分析は文章分析システム《文道》を使い、その分析基準は膨大な文章表現の文章の統計手法から求めています。
- ◎ 意識しなければ、対象は見えないでしょうし、使わなければ能力は向上しません。出題されたテーマに対して、現在、ご自身が意識し、活用しようとしている程度を数値で表しています。
- ◎ 意識があっても知識がなければ、上手く能力が働かないでしょう。知識があっても意識がなければ有効活用されません。現象の状態をご自身の認識と比較されて、今後にご活用戴けるよう願う次第です。

一 分析結果 一

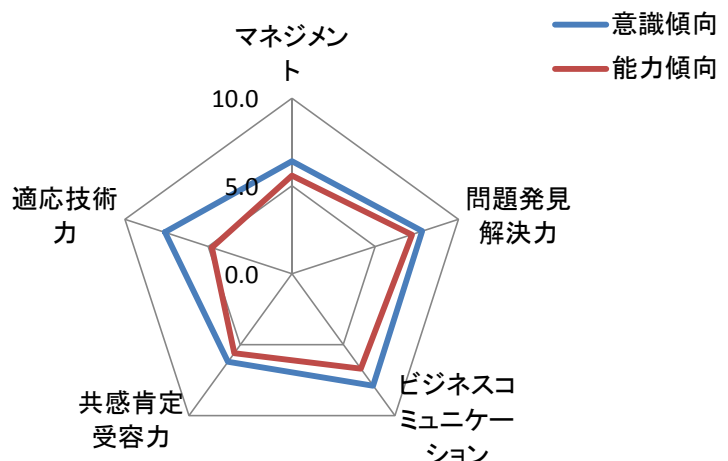
評価点は、S、A、B、C、Dの5段階と数値は主に10点満点で表しています。Sの場合は、該当する分野で卓越(オンリーワン)になり得る可能性があります。

- 意識傾向程度 **A** ■ 能力傾向程度 **B**
意識傾向と能力傾向を合わせたコメント★意識していない項目もありますが、意識しているところは丁寧にしています。能力が伸びていく可能性は高いはずですが、知識・技術の吸収に励むようにしてください。
- 社会に向けている視点範囲 **C** 貴方の視点範囲率は **43%** です。
グローバル・コミュニケーション能力を高めるために、外部を観察し、注意する分野があります。それらの分野に対しての視点範囲充足率を表しています。次ページ以下に詳細があります。
★興味のあるところは見えています、他は見逃しています。視野を広げるように心がけてください。
- 相手(読み手、聞き手)に受け止められる貴方の表現の好感度評価 **C**
★自らを成長させ、仕事を発展させるには、仲間が必要です。ご自身が立つフィールドを外部の人に理解して戴かなければなりません。その手段は説得ではなく、周辺の人々に思いの重心を置くと理解しておられると思います。現れている表現はご自身の主張が先に出ています。少しの注意で良くなるはずですが。
- 文章表現テクニカル評価点 **A**
次ページ以降に詳細点を表しています。参考にしてください。

■ 大項目の意識傾向と能力傾向

	意識傾向	能力傾向
マネジメント	6.4	5.6
問題発見解決力	7.8	7.2
ビジネスコミュニケーション	7.9	6.7
共感肯定受容力	6.2	5.6
適応技術力	7.6	4.8
平均	7.2	6.0

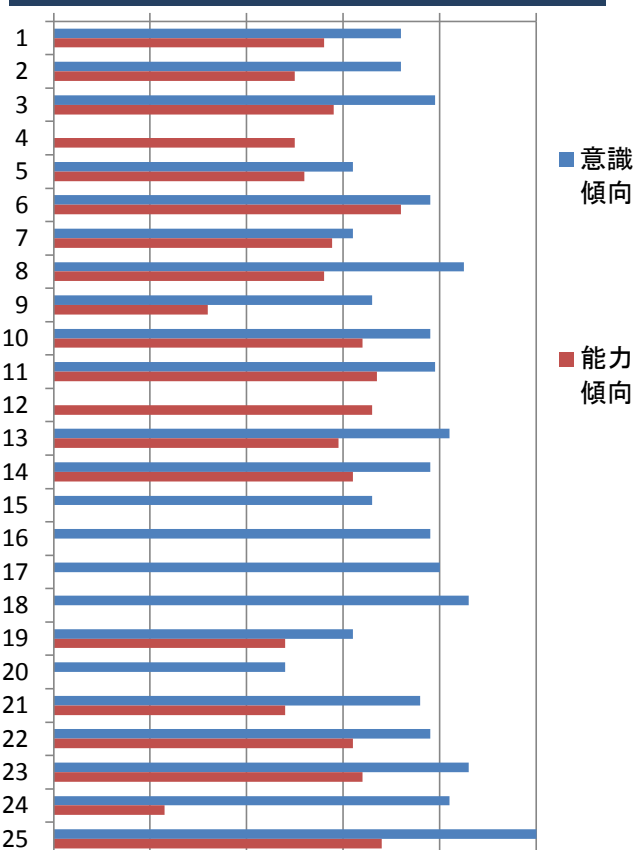
分析した項目は25あります。その中で、大項目を5つ表しています。詳細は次ページ以降をご覧ください。



■ 項目別意識傾向と能力傾向

判定項目		意識傾向	能力傾向
1	マネジメント	6.4	5.6
2	1 リーダーシップ	7.2	5.0
3	2 人材マネジメント	7.9	5.8
4	3 セルフマネジメント	意識外	5.0
5	4 ビジョン策定	6.7	5.2
6	問題発見解決力	7.8	7.2
7	1 情報収集力	6.2	5.8
8	2 分析力	8.5	6.8
9	3 課題形成	6.6	3.2
10	4 整合バランス	7.8	6.4
11	ビジネスコミュニケーション	7.9	6.7
12	1 プレゼンテーション	意識外	6.6
13	2 ファシリテーション	8.2	5.9
14	3 ネゴシエーション	7.8	6.2
15	4 ビジネスプロトコル	6.6	算出不能
16	アイデンティティの確立	7.8	算出不能
17	1 チャレンジ精神	8.0	算出不能
18	2 向上心の持続	8.6	算出不能
19	3 共感肯定受容力	6.2	5.6
20	4 倫理綱領・ビジネスマナー	4.8	算出不能
21	適応技術力	7.6	4.8
22	1 創造発想力	7.8	6.2
23	2 ストレス耐性	8.6	6.4
24	3 異文化適応性	8.2	2.3
25	4 ロジカルシンキング	10.0	6.8

意識&能力傾向グラフ



● 数値は10点満点で表している。

● 意識外は意識されていないことを表す。 ● 算出不能は基本となる能力以外の条件を必要とする。

● 意識傾向は、個人の最大値として出てきた値を満点として表し、その値を基準に算出している。

● 能力は職場環境、職種、個人の目的の有無と性質に関わらず、現在の可能性としての評価になる。

● 算出不能理由(個人の環境、目的等によって基準が変わる確率が高い。)

ビジネスプロトコル

業種別・職種別の知識と慣習が必要になる。

アイデンティティの確立

習慣、価値観がその時の意識に影響し、数値が変化しやすい。

チャレンジ精神

職場では挑戦可能領域によって変化する。

向上心の持続

仕事環境と個人の目的意識によって影響される。

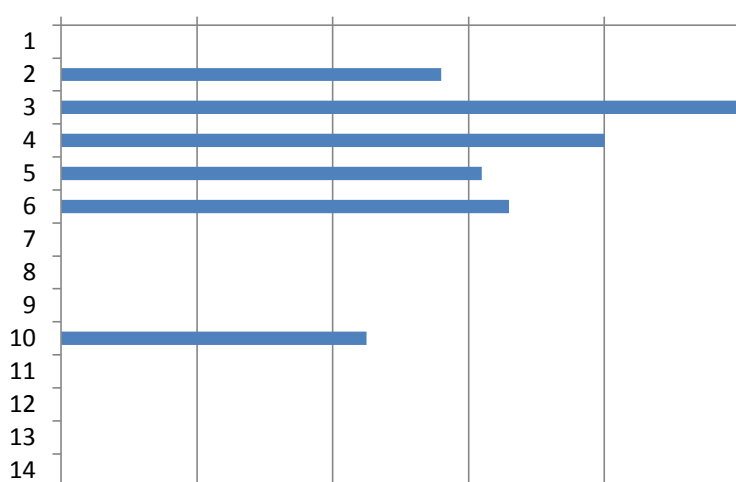
倫理綱領・ビジネスマナー

社会・組織・個人の価値観、慣習に影響される。

■ 社会に向けている視点傾向

分野項目	意識傾向
1 道具	意識外
2 知識・技術	5.6
3 方法論、方法、制限	10.0
4 場、ステージ、職種	8.0
5 姿勢・行為・状態	6.2
6 意識・価値	6.6
7 経済・金融	意識外
8 計算・数・数学	意識外
9 自然・社会環境	意識外
10 時間	4.5
11 政治・外交	意識外
12 組織・社会	意識外
13 社会科学	意識外
14 自然科学	意識外
平均	6.8

0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0



● 表されている分野は、グローバル・コミュニケーション認定で表現された項目のみで表しています。

● 点数は10点満点で、ご自身が意識された最大項目を10点として計算しています。

■ 現在の特徴とこれからの対策

判定項目		意識傾向	能力傾向	成長性	特徴と対策
1	マネジメント	7.2	5.6	↑	★1.マネジメント知識は、職位に関わらず、社会人の基礎教養として必要です。あなたの意識は働いていますが、正しいマネジメントについて、学習しておきましょう。★2.社会は変化して、肉体労働から知識労働になっています。そこでのマネジメントが何であるかを考えてください。人材マネジメントは管理を意識しすぎるとうまくいかなくなります。ご自身が管理を中心にされたとき、ご自身の生産性がどのようになるかをお考えください。★3.セルフマネジメントが弱いようです。何ができるかを考える前に、ご自身が「何をなすべきか」を考えるのも良いでしょう。ビジョン策定にも共通します。★4.専門知識だけでなく、これからの基礎教養についてご検討ください。
2	1 リーダーシップ	7.2	5.0	↑	
3	2 人材マネジメント	7.9	5.8	↑	
4	3 セルフマネジメント		5.0	↓	
5	4 ビジョン策定	6.2	5.2	↑	
6	問題発見解決力	7.8	7.2	↑	★1.知識・技術が意識に追いついていません。「情報とは何か」「分析の目的は何か」などをよく考えてください。★2.「ビジョン策定」と「課題形成」とは目標とすべき時期と範囲が違います。問題を解決するための一時的なものではなく、根本的な見直しが要求されています。そのために必要とされているモノを形成します。★3.整合バランスは、自身のためのモノではありません。ご自身と社会や市場、相手とのギャップを見出し、そのギャップを埋めるための過不足を見出す努力が必要です。バランスは、常に観察とご自身との行動の関係で成り立っていきます。★4.右項目について、ご自身の意味理解を深めてください。
7	1 情報収集力	6.2	5.8	↑	
8	2 分析力	8.5	5.6	↑	
9	3 課題形成	6.6	3.2	↑	
10	4 整合バランス	7.8	6.4	↑	
11	ビジネスコミュニケーション	7.9	6.7	↑	★1意識が強く働いています。習慣的な解釈が思い込みになっていないか確認してください。コミュニケーションでは、新しく研究文献がたくさん出ています。説得のためのコミュニケーションではなく、コミュニケーションの本来の姿を確認してください。★2.コミュニケーションは相手に内容の概念形成をして戴き、互いに関係し合うことだとご承知でしょう。そのための技術を確認してください。ご自身が述べられているように、新たな知識・技術を日々確認するようにしましょう。
12	1 プレゼンテーション		6.6	↓	
13	2 ファシリテーション	8.2	5.9	↑	
14	3 ネゴシエーション	7.8	6.2	↑	
15	4 ビジネスプロトコル	6.6		↑	
16	アイデンティティの確立	7.8		↑	★1.十分に理解しておられるようです。ですが、知識・技術のバランスに問題があるようです。新しく分かってくる事柄、発見される事柄がたくさんあります。基礎知識となる事柄を仕入れるようにしてください。★2.ご自身の習慣、考え方にとらわれていないかを常に確認するようにしてください。
17	1 チャレンジ精神	8.0		↑	
18	2 向上心の持続	8.6		↑	
19	3 共感肯定受容力	6.2	4.8	↑	
20	4 倫理綱領・ビジネスマナー	4.8		→	
21	適応技術力	7.6	4.8	↑	★1.前項目の「共感受容力」と適応技術力の「異文化適応性」の能力傾向が低くなっています。想定できる問題は、ご自身の考え方を先行させている可能性があります。★2.日常のお仕事からでは不可解な結果だろうと思います。ご自身の専門性を重視しすぎている可能性があるのではないのでしょうか。★3.項目「セルフマネジメント」「プレゼンテーション」の意識傾向が「意識外」と出ています。この結果は、これらに関連する言葉と表現を使っておられないからです。仕事上、「セルフマネジメント」「プレゼンテーション」が必要ないのかもしれませんが。提案行為よりも、伝達する行為が多く働いていないかを確認してください。
22	1 創造発想力	7.8	6.2	↑	
23	2 ストレス耐性	8.6	6.4	↑	
24	3 異文化適応性	8.2	2.3	↑	
25	4 ロジカルシンキング	10.0	6.8	↑	

矢印は現状の意識傾向から判断しています。

■ 表現テクニカル評価点 (各10点満点 合計100点満点 優良点は80点以上)

項目	評価点
■ 名詞は過不足なく書きましたか？風景や状況を相手がイメージできるように言葉を使ってください。言葉が多すぎると複雑になり、少なすぎると分からなくなります。	10点
■ 行動や気持ちを表す言葉はバランス良く書きましたか？文が短くなると動詞や形容詞は増えます。長くなると減ります。文章はリズムが必要ですが、文体に適した書き方をしましょう。	10点
■ あいまいな言葉は、できるだけ減らしましたか？あいまいな言葉は主に「まったく」「もっと」「とても」などの単語です。程度などを表しますが、使い過ぎると事実の意味が分かり難くなります。	7点
■ 「そして、しかし」などは、できるだけ減らしましたか？「そして、しかし」等は接続詞です。これらの単語は文章の流れを示します。使い過ぎると流れが多くなり、分かり難くなります。	7点
■ 「こそあど」言葉は正しく使いましたか？「こそあど」の、この、あれ、それ、などは指示語です。指し示す文や文節を確かめて使うようにしましょう。	10点
■ できるだけ漢字で書きましたか？漢字を正しく使うと読みやすく相手も理解し易くなります。漢字で表せる言葉はできるだけ漢字で書くようにしましょう。	7点
■ 「ですます・である調」は整えて書きましたか？一つの文章では、同じ語調で書くのが鉄則です。「である調」で書き始めたら最後まで「である調」にしましょう。同じ語調は文章にリズムをつけます。	7点
■ 「～の事・為」などは、できるだけ避けましたか？このような言葉は使い始めると何となく使ってしまう。意味を不確かになります。「～の事・為」を違う言葉に置き換えると意味は明確になります。	6点
■ 一文は、できるだけ短く書きましたか？一つの文章での文字数の平均は、論文で40文字、エッセイで30文字です。長すぎる文は意味を分かり難くします。	2点
■ 伝えたい言葉を決めてから書きましたか？書き始める前に、言いたいことをいくつかの言葉で、まず用意します。決めておくと言いたい事がぶれなくなります。	8点
総合点	74点

■ 貴方が表現されたキーワード群

組織、自分

■ 貴方が表現された文章の中で認識されたキーセンテンス

- 1 -----
- 2 -----
- 3 -----
- 4 -----
- 5 -----

表現された文章の中から、趣旨となっているセンテンスが表示されます。

- キーワード、キーセンテンスは、読者の印象に残りやすくなる言葉です。ご自身が伝えたいと思われた内容との一致・不一致の検討資料にお使いください。

一 分析システム関連についての説明 一

- ◎ 文章分析は、《文道》と言うシステムを使用しています。本システムは、何十万と言う文章を分析・検証し、統計手法で、ターゲットバリューを求めています。
- ◎ 意識傾向は使われている単語群と解答者の単語の意味意識の強さから計算されています。
- ※◎ 意識傾向値は、解答された方の分析値を10点にして、他の項目を計算しています。個人意識を基準に置いた絶対評価です。ですから、意識傾向では1つまたは2つの項目が満点を表します。
- ◎ 能力傾向は、表現されている表現構造と表現からの構成されている思考形態から計算されています。
- ◎ 分析手法等については、ホームページをご覧ください。『人文組織工学』の一言を素材にした分析論—をご覧ください。
<http://www.seedwin.co.jp/kougaku.html>
- 文章表現のためのテクニカル資料を用意しています。ご入り用の方はお申し出ください。
- 分析結果についてご不審な点、疑問点等ございましたら、お問い合わせください。

連絡先 info@seedwin.co.jp